

報道関係者各位

2016年9月14日
森ビル株式会社

文化都心・六本木から、世界に向けて先端のアートを発信
六本木にギャラリー拠点「complex665」オープン
日本を代表する現代美術ギャラリーなど4店舗を六本木アートナイトに合わせ開業

森ビル株式会社は、文化都心・六本木ヒルズの近接地に、日本を代表する現代美術ギャラリーなど4店舗を集積した「complex665」を、六本木アートナイト2016の初日である10月21日(金)にオープンします。

当社は、文化や芸術を、都市に人を惹きつける「磁力」と捉え、2003年に文化都心・六本木ヒルズとその象徴である森美術館をオープンしました。以降、六本木には国立新美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHTなどの美術館やギャラリーが相次いで開業、さらに2009年からは、約70万人が集う一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト」が開催され、六本木エリアは、東京を代表するアートの拠点として、その磁力を高めてきました。



六本木エリアの文化都心化をさらに推進

このたびオープンする「complex665」(地上3階、延床面積約943㎡)には、世界の名だたるアートフェアに数多く出展し、国際的に高く評価されている現代美術ギャラリーである、「小山登美夫ギャラリー」、「シュウゴアーツ」、「タカ・イシイギャラリー」が一挙に開廊し、六本木エリアのアートコンテンツがさらに拡充されます。

当社は、今後も引き続き六本木エリアの文化都心化を推進し、常に新たな知や創造、可能性を求めて、世界中から人々が集う、磁力ある都市づくりに取り組んで参ります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 渡邊、プロ
TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

小山登美夫ギャラリー

営業時間：火～土 11:00-19:00 電話：03-6434-7225 ウェブ：tomiokoyamagallery.com

1996年江東区佐賀町に開廊。今年10月より北参道から六本木に拠点を移し、渋谷ヒカリエと都内に2店舗を構える。開廊当初から海外のアートフェアへ積極的に参加し、日本の同世代若手アーティストの実力を国内外に発信。日本における現代アートの基盤となるような潮流を創出する。現在は菅木志雄、杉戸洋、蜷川実花、海外ではリチャード・タトルなどのアーティストに加え、陶芸アーティストも紹介。国境やジャンルにとらわれず巨匠から新たな才能まで幅広いアーティストの作品を紹介し、独自の視点で現代アートマーケットのさらなる充実と拡大を目指している。内装設計は今注目を集める若手建築家のムトカ建築事務所。



蜷川実花《Light of》2015年
©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

蜷川実花展「Light of」10月21日（金）～12月3日（土）

「光の軌跡に手を伸ばす 空はおそろしいほど、深く青く高い光を捕まえたい 助けを求めるその刹那、私達は幸福のなかにいる - 蜷川実花 -」

花火や野外フェスにおける暗闇で煌めく光を画面から溢れんばかりに捉え、その場にいる人々の一瞬の、閃光を享受する熱気や欲望をも窺い知れるような、力強く鮮烈な作品シリーズ「Light of」を展示。complex665のオープニングにふさわしい視覚的な鮮やかさと、刹那な美を止めようとする衝動、それを通して永遠なるものに触れようとする作家自身の視点を観る者に強く印象づけます。

小山登美夫コメント

森美術館、国立新美術館、サントリー美術館の3美術館や、六本木ヒルズ、隣接するピラミデビルにある5ギャラリー、そして今回オープンするcomplex665のタカ・イシイギャラリー、シュウゴアーツ、小山登美夫ギャラリーの3ギャラリーが加わることで、国内外の人々に「六本木に来れば良質な現代アートが見れる」と思ってもらえるような、一大アートディストリクトが誕生します。美術館、ギャラリー相互の刺激による活性化や、日本における現代アート市場の新たな変化の局面を私自身非常に楽しみにしております。



Photo: Makiko Nawa

シュウゴアーツ

営業時間：火～土 11:00-19:00、日 12:00-18:00 電話：03-6447-2234 ウェブ：shugoarts.com

80年代半ば以降の日本の芸術における、最も独創的な成果は何かということ念頭に美術に携わってきたシュウゴアーツ。六本木では、「ギャラリー的冒険」をテーマに、これまでの慣習に捉われない新たなギャラリーをオープン。より多くの方にアートを楽しんでいただくため、平日に加え、日曜日も開廊。建築家・青木淳の設計による「原っぱ」的ギャラリーでは展示の度にアーティストと共に空間全体を作り上げることで、真にクリエイティブな場としての進化を続ける。



小林正人《Unnamed #27.》2002年
photo by Shizuka Kobayashi, ©Masato Kobayashi

Thrice Upon A Time 10月21日（金）～12月4日（日）

シュウゴアーツは、complex665における新スペースにおいてより一層エキサイティングな数々のプログラムに挑戦します。その第一弾として、絵画における最大の冒険者として支持される小林正人の新作展を披露します。また平日に加え日曜日もオープンします。多くの方に六本木の新たなアート地区を楽しんで頂きたいと願っています。

佐谷周吾コメント

六本木は2003年秋に森美術館が開廊して以来、東京のアートシーンの大変貌の主要な舞台であり続けてきました。青木淳設計の新しい空間に皆さまをお迎えできることはシュウゴアーツ一同の大きな喜びです。



Photo: Tomoko Yoneda

タカ・イシイギャラリー

営業時間：火～土 11:00-19:00 電話：03-6434-7010 ウェブ：takaishiigallery.com

1994年開廊。以後20年にわたり、荒木経惟や森山大道などの日本を代表する写真家、画家、新進気鋭の日本人作家の作品を扱う。また国際的に評価の高い海外作家の展覧会も多く開催し、欧米の現代美術の進運を積極的に日本に紹介。東京2箇所に加え、ニューヨークとパリにもギャラリースペースを構える。代表の石井は2014年に一般社団法人日本芸術写真協会を設立。「代官山フォトフェア」を開催するなど、国内写真マーケットのさらなる発展にも力を入れている。



Ei Arakawa in collaboration with Dan Poston, Stefan Tcherepnin, How to DISappear in America: The Museical, 2016, photo by Gayla Fierman

Inaugural Exhibition: MOVED 10月21日(金)～11月19日(土)
ギャラリーアーティスト20名によるグループ展「Inaugural Exhibition: MOVED」を開催します。日本写真界の巨匠から近年の現代美術を力強く牽引する欧米作家、50年代の前衛芸術精神を継承するパフォーマンスアーティストなど、弊社がリプレゼンする国内外の作家の新作が一堂に会します。テラスを望む108平米の新たなギャラリースペース(3F)に加え、1Fにはビューイングスペースを設けます。内装はブロードビーンが設計し、テラスの植栽はセコイアワークスが手掛けます。

石井孝之コメント

森美術館やギャラリーが集まる六本木は、夜の街から文化の街へと変化しつつあります。新たにオープンするcomplex665は、国際的に活躍するアーティストの質の高い展覧会を、海外との時差無く見ることのできる場所となります。世界中からさらに多くのコレクターやキュレーターが六本木に集まり、そのアート談議に花を咲かせることでしょう。

Photo: Kenji Takahashi



ブロードビーン

営業時間：火～土 11:00-19:00 電話：03-3263-8990 ウェブ：broadbean.jp

2003年設立の内装デザインやリノベーションを手掛ける『broadbean』が展開する家具のショールーム。「空間の調律」「佇まいのデザイン」をテーマに、室内空間の設計・施工、形の美しさや仕上げの素材感を追求した、控えめながらも質の高い家具をオーダーメイドで制作。可能な限りシンプルで、最小限の表現による普遍的な空間づくりを目指しており、これまで多くの現代美術ギャラリーの内装を手掛けている。

「職人が丁寧に仕上げた家具が佇むことで、新たな“気付き”をもたらす空間」をコンセプトに、シーズン毎に展示を入れ替えながら企画展も開催していく。



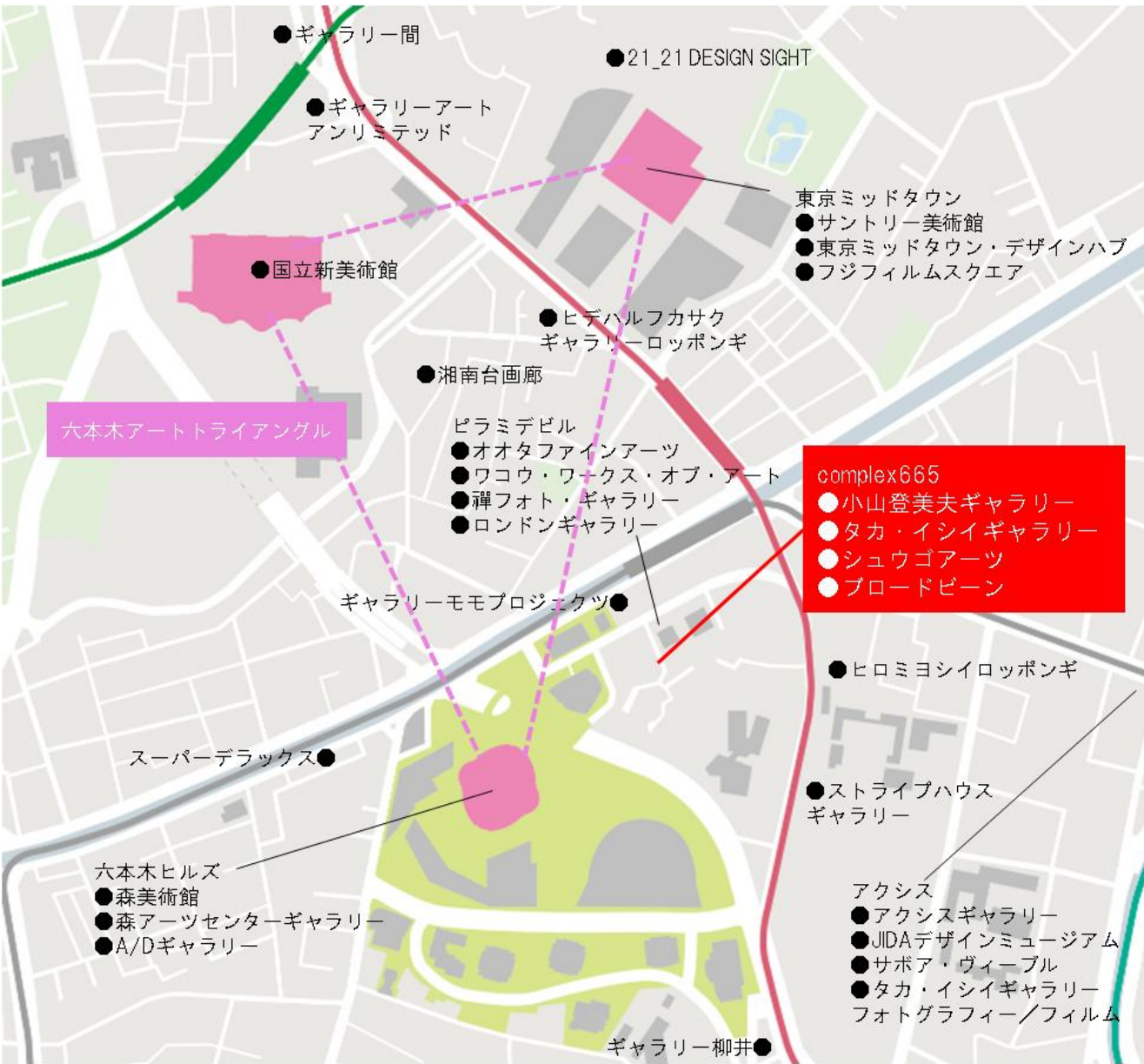
荘司新吾コメント

これまで多くの現代美術ギャラリーの内装を手掛けてきた弊社は、この度初のショールームをcomplex665に設けます。職人が丁寧に仕上げた家具を、明確なテーマに基づいて展示して参りたいと考えております。ディテールの美しさと空間における家具の在り方を感じ取っていただけると嬉しく思います。

Photo: Kenji Takahashi



<ご参考> 六本木ヒルズエリアと文化



complex665物件概要

所在地	: 港区六本木六丁目5番24号
敷地面積	: 約645㎡ (約195坪)
延床面積	: 約943㎡ (約285坪)
構造	: S造地上3階建て
竣工予定	: 2016年9月28日
開業予定	: 2016年10月21日
設計・施工	: JFEシビル株式会社
店舗構成	: 3階: タカ・イシイギャラリー 2階: 小山登美夫ギャラリー、シュウゴアーツ 1階: タカ・イシイギャラリー、ブロードビーン

六本木アートナイト2016

8年目(7回目)を迎える六本木アートナイト。今年も、新たに港区が主催者に加わり、日程も春から秋に季節を移し、1日延長した3日間で開催します。「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」協賛イベントにも認定されました。「六本木、アートのプレイグラウンド〜回る、走る、やってみる。〜」をテーマに、世界的に活躍する美術家、名和晃平氏をメインアーティストに迎えます。

開催概要
 会期: 2016年10月21日(金)~10月23日(日)
 会場: 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

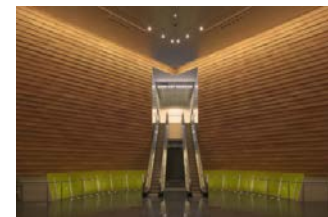
小山登美夫ギャラリー、シュウゴアーツ、タカ・イシイギャラリーは六本木アートナイトに参加、10月21日(金)、22日(土)は営業時間を21:00まで延長する他、トークイベントなども開催する予定です。

森ビルと文化の歩み

1986年
 アークヒルズ誕生
 サントリーホール開館
 「世界一美しい響き」をコンセプトに掲げて誕生したサントリーホール



2003年
 文化都心・六本木ヒルズ開業
 森美術館開館
 繁華街として発展してきた六本木に、オフィスや住宅、商業を複合開発した六本木ヒルズが誕生。東京になかった「文化都心」を標榜し、最上部に森美術館を設置した。



2009年
 六本木アートナイトスタート



2015年
 森美術館リニューアル

開館以来初の大規模改修を実施。リニューアルを記念して、村上隆の過去最大の個展を開催。

2016年
 complex665オープン

日本を代表する現代美術ギャラリー(小山登美夫ギャラリー、タカ・イシイギャラリー、シュウゴアーツ)を集積。

2007年
 国立新美術館開館
 サントリー美術館開館
 21_21 DESIGN SIGHT開館
 六本木エリアに新たに3つの美術館など文化施設がオープン。森美術館と「六本木アートトライアングル」を結成し共同でプロモーションに取り組む。



六本木
 アート・
 トライアングル

1993年
 ラフォーレミュージアム六本木開館

1988年
 アーク都市塾スタート

1998年
 アークヒルズクラブオープン

1986年

1988年

1993年

1998年

2003年

2007年

2009年

2011年

2013年

2015年

2016年

1987年

1989年

2004年

2004年

2005年

2006年

2008年

2010年

2012年

2014年